

審査結果（案）の一覧\_第2作業部会（第1回）

番号	補助金名称	H25 予算額 (千円)	総合 評価	コメント
16	社会福祉協議会 補助金	30,000	見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助要綱を改正し、補助対象経費を協議会の根幹に係る法人運営事業の人件費、事務費等に限定する措置は講じられているものの、本委員会から再三指摘している積算根拠の明確化までには至っておらず、効果的で透明性の高い事業補助金への転換が早急に求められるところである。</li> <li>・ また、前回提言の社会福祉協議会の本来の機能や位置づけの明確化と市との役割分担の整理に向けた検討はなされていない。</li> <li>・ 地域福祉計画において協議会を地域福祉の中核に位置づけていることに加え、協議会自身が厳しい財政運営を強いられているのであれば、なおさら前回のおり、協議会のあり方や市との関係性を明確にした上で、協議会の個々の事業の必要性にまで踏み込んだ事業内容の見直しを行うべきである。</li> </ul>
17	地域交流施設運 営補助金	1,000	見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本補助金は、前回提言において「廃止」とし、行政内部においても廃止に向けた検討が進められたものの、地元等への配慮から補助金額を大幅に削減した上で継続されているものであり、継続に際しては、使用料の徴収や特定地域の住民にのみ認められていた利用制限の撤廃がなされているところである。</li> <li>・ もっとも、本施設の継続的な維持管理が財政面で困難であることから、運営者である社会福祉法人において、来年度以降の施設の廃止も含めた検討がなされているとのことである。</li> <li>・ しかし、施設の廃止にあたっては、本施設の必要性や利用状況、ニーズ等の把握に努めた上で、市として本施設の存続の是非を判断すべきである。</li> <li>・ それでもなお、施設の廃止を判断される場合には、今後の施設運営や市有地である敷地の無償貸与の取扱について、運営主体と協議されたい。</li> </ul>

番号	補助金名称	H 2 5 予算額 (千円)	総合 評価	コメント
1 8	シルバー人材センター運営補助金	7,100	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進展する中、高齢者の就業機会の創出と社会参加の推進において、同センターが果たす役割は非常に大きく、これからもその重要性は高まるものと考えられる。</li> <li>・市からの補助金は国庫補助金と同額で、上乗せ補助はなされておらず、事務費・会費の見直しや会員の増加に向けた取組など団体の自立に向けた取組が積極的になされており、同センターの重要性と、国からの補助金が市補助金と連動して交付される現状に鑑み、市が引き続き財政面で支援していくことが必要であるとする。</li> <li>・もっとも、市職員の同センターへの人材派遣や定年年齢引き上げに伴う会員の高齢化、女性会員の拡大、新規事業の開拓などの課題も見受けられるとともに、一定の配慮はなされてはいるものの、現在の経済情勢における安価な労働力の提供による民業圧迫の可能性も懸念されることから、地域の一事業者として安定的かつ自立した団体運営に努めることが求められる。</li> </ul>
1 9	高齢者交通費助成金	200,950	廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回提言においても指摘したとおり、高齢化の進展により毎年1千万円程度の財政負担の増加が生じており、持続可能な財政運営の観点からも政策そのもののあり方を抜本的に見直すべきである。</li> <li>・本助成金本来の目的からかけ離れた利用実態となっている可能性も指摘され、市としても本助成金のあり方を見直す必要性は充分認識している状況ではあるが、前回提言と同様本助成金については、廃止することが妥当であると判断する。</li> <li>・廃止するに当たっては、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進、交通弱者への支援などの目的を達成しつつも、持続可能な他の方策を検討すべきである。</li> </ul>